

東北地区

エイズ予防啓発キャンペーン ～秋田保健所と共同～

日臨技公益委託事業「世界エイズデー」は、12月1日(火)の世界エイズデーに合わせて、より多くの市民の方にエイズを正しく理解してもらうために秋田県臨床検査技師会と秋田県保健所との共同で啓発街頭キャンペーンを行いました。



今回の日時では、秋田県臨床検査技師会県北支部などの会員8名が参加し、能代駅前では能代保健所と共同で7時30分から8時30分まで、いとく大館ショッピングセンターでは大館保健所と共同で10時から11時まで、イオンタウンたかのすショッピングセンターでは鷹巣保健所と共同で15時30分から17時までの日程でそれぞれ行われました。

内容としては、エイズ検査予定日や相談窓口、発症後の対応などを記載した啓発グッズ(保健所が用意したパンフレット、技師会が用意したティッシュと絆創膏)を買い物客や駅利用者に配りながら、積極的なエイズの検査受診などを呼びかけました。また、早期発見による治療で発症を抑えることができるなど、正しい知識の普及にも努めました。特に、いとく大館ショッピングセンターでは約40分間で300部を配布するなど大盛況だった様で、担当の大館保健所の保健師さんからも「また何か有りましたら宜しくお願ひ致します。」との有り難い感謝のメールを頂きました。

今回、初めての技師会公益活動への参加でしたが、(社)秋田県臨床検査技師会定款の第1章総則の(目的)と(事業)にぴったりと合った活動内容で、自分自身大変満足しております。今後もがん検診の普及などを含むこの様な事業には積極的に参加していきたいと思ひます。【川上登】

北海道地区

AIDS 予防啓発キャンペーン In 北海道

今年度北海道は2箇所での開催となりました。十勝地区会においては地区内の会員施設を中心に、北臨技は札幌駅前においてPR活動を行いましたので、その報告をさせていただきます。

【帯広編】

12月1日(水)は、エイズ予防啓発活動の日として、全世界的にエイズ予防啓発活動がなされている。北臨技においては、エイズ予防啓発活動を日臨技との公益共催事業として取り組んできたが、今回、十勝地区会においてもエイズ予防啓発活動に協力して取り組むこととなった。十勝としては初めての試みであり、エリアが広く人口が分散している十勝の状況から考えて、会員施設外来ロビーで行うこととした。参加施設は9施設、協力参加会員42名にて、病院に訪れた市民に「AIDS 予防啓発ポケットティッシュ」などを配布したが、あっという間に配布完了になりました。また、今年度のPRポスター「ブラックジャック」は子供達にはとても好評でした。【高野 良二】



【札幌編】

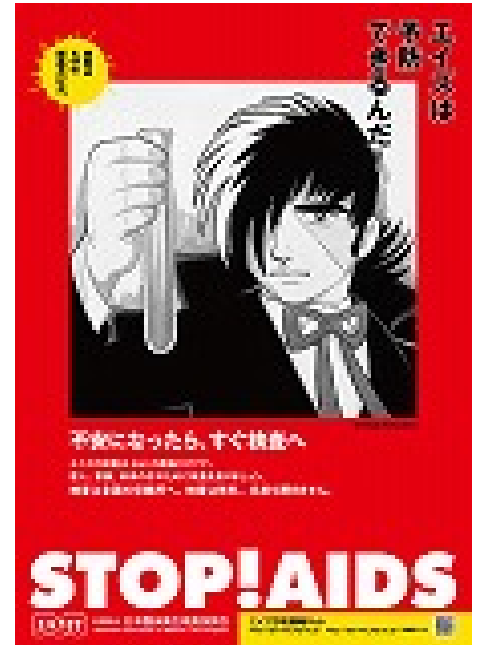
12月12日(土)小雨の降りしきるJR札幌駅周辺において「AIDS 予防啓発キャンペーン」を行いました。今年は世界エイズデーの12月1日を過ぎてからの実施となりましたが、昨年同様にクリスマスイメージの袋に日臨技からの「世界エイズデーのポケットティッシュ」「日臨技絆創膏」と北臨技で作成した「市民へ向けた検査技師アピールのチラシ」と「エイズに関するパンフレット」さらにインフルエンザ対策のための「マスク」を入れて、道行く市民にエイズ予防と撲滅を訴えながら手渡しました。



第57回学会用に作成したスタッフジャンパーやサンタの衣装、さらには日臨技のポスターを身につけて奮闘する役員の頑張りは拍手ものでした。用意した300個も1時間足らずで配布終了となり、この頃には雨も上がり担当者の熱意が天にも届いたかのようでした。

受け取る市民からは「ありがとうございます」「ご苦労さま」「頑張ってください

い」などの声かけられ配布担当役員も勇気付けられていました。しかし、逃げるように避ける人もいましたが、白い息を吐きながら何とか無事終了できました。この時期、北海道の気象条件は街頭活動には寒さが伴うことが多く防寒用に「スタッフコート」が欠かせないものと思われました。とにかく、「寒い」中、頑張ったことを報告します。【田上 稔】



お詫び!

「会報 JAMT」Vol.15 No.12 4P に掲載された、「がん制圧・乳がん撲滅」啓発事業の、群馬県が行ったイベントの写真が誤って掲載されました。ここに、お詫び申し上げ、あらためて写真を掲載いたしますので、差し替えをお願いします。



UNFPA 国連人口基金
「世界人口白書 2009～気候変動と女性～」

⇒ 本誌 10～11 ページ

この白書は、気候変動枠組条約第15回条約締約会議(COP15)の準備資料として発表されたものです。